

COVID-19 の時代に薬物治療とカウンセリングサービスを提供するには？

UNODC は、ナイジェリアの医師、心理学者、看護師、カウンセラーのネットワーク

「DrugHelpNet」を立ち上げ、助けを必要としている薬物使用者に電話による支援を提供しています

2019 年のナイジェリアにおける薬物使用調査に基づき、UNODC は、300 万人以上のナイジェリア人が何らかの薬物使用障害を抱えて生活していると推定しています。ナイジェリアのほとんどの州で実施されている政府による封鎖は、特に彼らに重くのしかかっています。薬物へのアクセスが難しくなる一方で、治療やカウンセリングサービスへのアクセスも難しくなっています。さらに、薬物使用障害に苦しんでいる人やその家族にとっては、自己隔離が特に重荷になっていると感ずることがあります。

緊急かつ現実的な救援を提供するために、UNODC は EU が資金提供した [ナイジェリアドラッグプロジェクト](#) の枠組みの中で、ナイジェリア全土の医師、薬物カウンセラー、関連専門家を含む 80 人の最前線の保健ワーカーと協力して、COVID-19 の期間中に薬物使用者やその家族のために電話での支援を提供しました。

[ナイジェリアの 6 つの地政学的ゾーンにある DrugHelpNet メンバーの連絡先の詳細については、ここをクリックしてください](#)
このネットワーク設立のための UNODC の要請に熱心に応じた医療専門家は、Treatnet の方法論および/またはユニバーサル・トリートメント・カリキュラム（UTC）を使用して薬物治療の訓練を受け、プロジェクトの下で認定されています。

[ナイジェリアにおける 2019 薬物使用調査](#) では、薬物使用障害を持つ人々の治療やケアに対するニーズを満たすには明らかなギャップがあることが明らかになりました。薬物治療を受けたいと思っていたが、そのようなサービスにアクセスすることができなかったと報告した人のうち、約 40% が薬物治療を受けたいと思っていたと報告しています。薬物使用者の脆弱性は、特に国際社会が COVID-19 パンデミックを封じ込め、感染症のカーブを平坦にするために取り組んでいる中で、深刻な懸念材料となっています。

薬物使用者は健康状態が悪いため、COVID-19 に対して脆弱であり、他の人たちより深刻です。持病がある場合には、より大きなリスクを負うこととなります。薬物使用者が経験したスティグマを考えると、彼らはこの時期に医療サービスにアクセスすることができないかもしれません。

さらに、このロックダウンの期間中、薬物使用者は、離脱症状のような薬物関連の健康問題に直面する可能性があり、医療提供者に相談する必要性を感じるかもしれません。

したがって、この公衆衛生上の緊急事態への国の対応は、薬物使用者を考慮に入れることが不可欠です。

ロックダウン中に苦痛を経験し、医療的またはカウンセラーからのアドバイスを必要とする薬物使用者またはその家族は、彼らが居住する地政学的ゾーンのリストにない医師/カウンセラーに連絡してアドバイスを受けることができます。薬物やアルコールの禁断症状、食欲不振、睡眠不足、による苦痛や、さらに深刻な場合は、薬物使用者やその家族がロックダウン中に管理できない精神的な症状に関連している可能性があります。

薬物使用者のための治療サービスへのアクセスを確保することは、SDG3「良好な健康とウェルビーイング」を達成するための鍵であり、COVID-19 の対応から薬物使用者を排除しないことで、「誰も取り残さない」ことを確実にしなければなりません。